



早稲田大学 立川稻門会会報

2013年12月2日
第18号

発行 立川稻門会
事務局 立川市富士見町2-36-43
森山善弘
TEL 042-523-7601
FAX 042-523-7605
<http://www.bz-jpn.com/tachikawa-tohmon/>

会長交代

中村克久さん就任挨拶

ありがとう そして 未来へ



会長 中村克久

この十月に立川稻門会は第四回の総会を迎える事が出来ました。本来は来年が四十周年ですが年に二回の総会をした年もあり、今年が四十回総会と云う事になります。創立総会に奔走した私にとってこの節目の年に会長に推挙されたことは有難いと思うと同時に責任を感じます。

第一回の創立総会が行われた年は南ベトナムで解放戦線がサイゴンを制圧した年でさらばハイセイコーが流行歌で歌われた年でもあります。

イルカのなごり雪や布施明のシクラメンのかほりを覚えている方も多いと思います。爾来、設立し運営に尽力

された多くの方々にあらためて感謝したいと思います。私はこの三十年の間、青少年期の欲望探求に追われて、立川稻門会の運営から遠ざかっていました。その贖罪をこめて、新しい時代へのバトンタッチを担つてゆきたいと思います。

稻門会は母校への支援、会員の親睦、地域貢献という目的があります。

私は運営にあたり三つの活動方針を皆さんに示しました。

第一が会員の拡大です。

の利用です。

当会の活動状況はHPで公開していますが、残念ながらアクセス数は未だ多くはありません。観桜会、納涼会や散策の会、麻雀の会、カルチャーやボーット等の会など、会活動をリアルタイムに知らせたいと思います。

第三は会則の検討です。私はどのような役職経験者であれ、退任したら一員で良いと考えます。顧問や相談役という役職は不要で偶然ワセダの卒業生だと知ることも多々あります。それらの活動で知り合ったワセダの仲間に立川稻門会の活動に入つてもらう事も大事なことだと思います。「地縁」があつてこそ、「学縁」と思います。

まずはこの二〇〇名の校友に当会への参加を呼び掛けやすい、参加したくなる良いかを皆さんと考えてゆきたいと思います。今は活動の活発化・活性化です。若い会員や女性が参加しやすい、参加したくなる会にするためにはどうしたら良いかを皆さんと考えてゆきたいと思います。

現在、立川稻門会の多くの会員が議会、自治会、生涯教育、市民祭、ボランティアなど地域の諸活動に参加しています。地域活動の中で偶然ワセダの卒業生だと知ることも多々あります。彼らの活動で知り合ったワセダの仲間に立川稻門会の活動に入つてもらう事も大事なことだと思います。「地縁」があつてこそ、「学縁」と思います。

立川稻門会の存在の基盤は会員の親睦です。したがってこの親睦を害する行為に対する規定を挿入したいと思います。

私はどのような役職経験者であれ、退任したら一員で良いと考えます。顧問や相談役という役職は不要で偶然ワセダの卒業生だと知ることも多々あります。それらの活動で知り合ったワセダの仲間に立川稻門会の活動に入つてもらう事も大事なことだと思います。「地縁」があつてこそ、「学縁」と思います。

更に、当稻門会には慶弔規定がなく会員の慶弔時に祝電や弔電なども手続きが決まっています。この点も明確にしたいと思います。いずれの会則変更も皆様の総意で決まるものです。活発な議論をお願いしたいと思

います。

最期に、和田宏さんと榎本信行さんのご逝去に際し深甚なる哀悼の意を表し、心からのご冥福をお祈りいたします。

新役員名簿	
役職	氏名(卒業年度)
会長	中村克久(S36)
副会長	鈴木一廣(S38) 長谷川英夫(S41) 小林和雄(S47)
幹事長	森山善弘(H1)
副幹事長	波多野進(S36) 柴香里(S61) 相川雅信(H3)
業務幹事	伊藤暢子(S35) 小木曾夏樹(S35) 広瀬俊夫(S39) 天野博一(S41) 佐竹茂市郎(S51) 木村辰幸(S63) 亀井裕子(H2) 安東太郎(H8) 上野竜造(H13) 池谷優憲(H23)
広報幹事	岩瀬英治(S41)
会計幹事	加藤孝(S41)
監査	大岩泰世(S34) 丸本和代(S40)

〈事務局〉森山善弘
〒190-0013 立川市富士見町2-36-43
TEL: 042-523-7601 FAX: 042-523-7605
<http://www.bz-jpn.com/tachikawa-tohmon/>

見事なパフォーマンスを披露、つづいて全員で校歌斉唱とエールですべての行事を終わりました。

参加者全員には校章入りのどら焼きのお土産が用意されました。

来賓

内田勝一早稲田大学常任理事・副総長佐藤宏之地域担当副部長武士宏策立川三田会会長大上忠治同副会長岩崎恵充昭島稻門会会長杉崎源三郎同副会長赤見市郎あきる野稻門会会長濱田賢一郎同副会長河合一郎稻城稻門会会長大倉十彌也青梅稻門会副会長上岡高志同副会長諸田志郎国立稻門会副会長三浦弘幸同幹事長眞理鐵哉小金井稻門会会長清水元同副会長庸夫同副会長山賀理国分寺稻門会会長清水元同副会長重雄同幹事石川好男福生稻門会会長南敏同幹事長相川雅信藍原尚美浅谷佳

長幹事長伊藤順藏小平稻門会会長栗原政博同幹事長浩史同幹事牛尾進泊江稻門会会長湯浅芳衛多摩稻門会副会長竹島亞機雄西東京稻門会副会長幹事長大久保健仁同副会長白井裕泰羽村稻門会会長小龜輝雄東村山稻門会会長當間昭治同副会長事務局長田原稔男東大和稻門会会長南敏同幹事長

山内治男日野稻門会会長藤村重雄同幹事石川好男福生稻門会顧問加藤和夫同副会長清水沢男町田稻門会会長白石旺子同副会長岡田行雄三鷹稻門会副会長川崎大八武藏野稻門会副会長杉瀬明夫広瀬俊夫福井俊樹古川剛久堀田進本田鉄夫同常任幹事諸江昭雄同副会長阿部真武藏村山稻門会副幹事長

秀天野博安東太郎井芳栄池谷優憲伊藤暢子伊藤裕康岩瀬英治内野正男江藤英彦遠藤倫生大岩泰世大上保岡田正昭加藤孝川端博美木下英材木村辰幸小木曾夏樹小林和雄小林章子小宮山正明古明地昭雄佐竹茂市郎柴香里志村順子鈴木一廣武井郁治武末勝田中清勝田中一正田中清敬田村二葉富樺稔長野長正中村信中村克久仁尾弘長谷川英夫波多野進原健一原野哲子東誠広瀬明夫広瀬俊夫福井俊樹古川剛久堀田進本田鉄一松井茂宮木博司森山善弘山本武男柳谷益吉米田典弘

会員

匡宏龍旭佳(中村克久記)

この度、幹事長に就任いたしました。これから二年間よろしくお願いいたします。

私が立川稻門会に参加させていただくようになつたのは、父(森山勇・昭和三十七年政経卒)の勧めがあつたからです。その父が今年六月にこの世を去り、同じ年に幹事長を受けさせていただくことになり縁を感じております。稻門会に参加するようになってから前と顔が一致しない方も沢山いらっしゃり、そんな者が幹事長を受けていいのかわからませんが、皆さんに協力していただき、中村克久会長を支えながら仕事をしていきたいと考えています。

私は平成元年社学卒です。学生時代はアルバイトとクラブに力を入れおりまし

たので、大学にあまり行っていませんでした。そのため学生時代に大隈講堂に入った記憶もありません。それが娘三人が早稲田実業学校にお世話になり、卒業してからこんなに早稲田大学に縁ができるとは夢にも思っていませんでした。

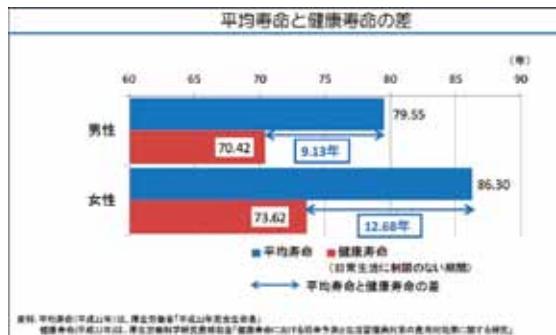
昨年から「平成会」と称して若手の会を志村前会長の発案で始めました。立川稻門会では平成卒の会員も役員になつていただいております。他の稻門会に比べても若手と女性の役員が多いようです、先輩たちの努力の結果ではないでしょうか。立川稻門会が、発展していくためには裾野を広げていくことはとても大切なことです。平成組の長老として、若手や女性の校友が参考しやすい立川稻門会を模索していきたいと考えています。今後の「平成会」は平成卒の人々に限らず、自分は平成卒であると思っている方にも参加していただきけるようなことも考えております。

生前、父は「明るく、楽しく、元気よく。」と事あるごとにあいさつの中で使つ

幹事長就任に当たつての抱負



よう決心をしました。
六十歳に胃がんで手術した時の辛さを改めて思い出したのがきっかけです。



六十歳に胃がんで手術した時の辛さを改めて思い出したのがきっかけです。
六十歳に胃がんで手術した時の辛さを改めて思い出したのがきっかけです。
六十歳に胃がんで手術した時の辛さを改めて思い出したのがきっかけです。

らっしゃいます。一方男性は仕事中心で退職後は人間関係を築くのが苦手のようですが、テレビと読書がお友達で会話の無いような生活には耐えられませんが皆さんにはいかがしようと。
退職後にはキョウヨウとキョウイクがこれからは重要な要素だそうです。既にご存知の方もいらっしゃるでしょうが天声人語に掲載されていましたので紹介します。

キョウヨウは教養ではなく（今日は用事がある）。キョウイクは教育ではなく（今日は用事がある）。人生後半の過ごし方のヒントになります。どうですが如何でしょうか。

私は手始めに毎日が現役時代のように義務感ではなく自分に目標を持って継続的に楽しむ事を考えました。実践するには具体的により具体的に毎日のプランを考えることです。

現役時代の私は健康のことなど全く頭になく忙しく走り回るような毎日でした。そんな時胃がんが見つかり辛い思いをしました。それでも幸い健康を取り戻しました。

所で独り暮らしの高齢者が孤立する事で起きる悲劇をたびたび耳にします。女性は地域に溶け込み生き生きしている方が多くいます。



退職後は手と頭を使う「料理とパソコン」がお勧めです。特に料理は食生活に関心が向く、かみさんとの会話をして雑談のネタになりました。男子厨房に入り献身的に行なうことです。

「人生の下り坂に老莊思想」の記事が新聞にありました。

この教えを「地位と肩書きとかに関係なく感謝の人間関係を何人と築けるか」

立から買い物とキョウイクとキョウヨウを念頭に修行をしています。又市の広報で私が出来そうな地域活動（パソコン講座）へ参加し仲間との交流も楽しんでいます。旅も好きなので一人旅・夫旅・友達旅とプランを立てることができます。又旅先での人の出会いも大切にしています。

そして毎日のラジオ体操は健康寿命を延ばすのに役立ちそうです。

そこで毎日のラジオ体操は健康寿命を延ばすのに役立ちそうです。

和田さんから電話を頂いたのは今年の八月八日でした。淡々と自分の生きる時間はそう長くはなく、覚悟は出来ている旨の話でした。返す言葉もなく病院をたずねましたが、教えてはいただけず、静かに身の回りを整理しているので見舞いなどは勘弁して下さいとのことでした。二ヶ月半後の十月二十二日、和田さんが逝かれたとの連絡を奥様から頂きました。焼香はおりしも立川稲門会の総会があつた二十六日にさせて頂きました。

私は仕事の関係で十年余り立川稲門会に参加しておられませんでしたが、散策の会がご縁で和田さんと知り合えたの七年ほど前でした。以後自宅が近いこと、私の好きな作家が吉村昭さん、司馬遼太郎さんであったこともあり、なぜか話があり、加えて奥様も稲門の方でご夫婦でお付き合いして頂きました。

中国古典を学べる場
海島聖堂 公益財団法人斯文会(東京都)
<http://www.seido.or.jp/index.html> に論語や老子、漢詩など36の文化講座
☎03-3251-4606
NPO法人 論語普及会
<http://home1.tigers-net.com/rongo/>
に各地の講座、論語以外の講座も
1月15日に大阪で定例の洗心講座
大阪事務所☎06-4797-9570
安岡活学塾(東京都)
<http://www.ymkj.jp/> に講座の案内
☎03-3545-1281

和田宏さんをしのんで
森下公明

話題には事欠かない和田さんでしたが、私にとつて一番印象に残っているのはお話ではなく立川第二小学校での運動会です。昨年、一昨年の運動会でお孫さんを見守るなんともいえない嬉しそうな優しい顔の和田さんです。今年九月はみえませんでした。五年生になられたお孫さんの姿をさぞみられたかったことでしょう。

昨年、新装出版された吉村昭さんの「虹の翼」の解説を書かせてもらいましたと本を届けてくださいました。その時に又本を出した時に残っています。最後の電話の「覚悟している」の言葉の裏に、もう一度本を出したいとの思いが秘められている気がしてなりません。

和田さんの故郷若狭のかれいとへしょを取り寄せ、近々仏前に伺って聞いてみたいと思つております。

心からご冥をお祈り申し上げます。

その後貴兄は、立川稲門会には創立時より参加されましたが聞きますが、小生は都内勤務のサラリーマンとい

榎本君を追悼して

大岩 泰世

榎本君、貴兄の御逝去の知らせを受け、「瞬心臓が凍りついたような思いを受けて以来、既にひと月近くも経ってしまいました。貴兄とは、立川稲門会で会長、幹事長として僅か二年間の短い間でありましたが、緊密なお付き合いの中で樂しく過ごさせて頂きました。

私は、共に立川の地に生まれましたが、貴兄は立川の北側、私は南と立川高校で一緒になる迄は全く無縁な人生でしたが、高校最後の三年生のときはクラスが同じになりお付き合いが始まりました。

しかし、貴兄は法科、小生は技術系とそれほど親しいお付き合いとはなりませぬでした。大学が同じ早稲田になり、心の通じ合う関係で過ごさせて頂きました。

昨年、新装出版された吉村昭さんの「虹の翼」の解説を書かせてもらいましたと本を届けてくださいました。その時に残っています。最後の電話の「覚悟している」の言葉の裏に、もう一度本を出したいとの思いが秘められている気がしてなりません。

和田さんの故郷若狭のかれいとへしょを取り寄せ、近々仏前に伺って聞いてみたいと思つております。

うこともあって勤めの終わ
り頃の平成八年頃に稲門会に参加させて頂きました。

ところが、在籍三年目頃、

貴兄から、「会長に推薦さ
れ引き受けるハメになった

ので、大岩君、一緒にやつ
て助けて欲しい」と懇願さ

れ、役目が幹事長と言われ、
新人の私には無理と固持し

たものの、一緒にやれば大
丈夫と説得されてしまいま
した。その後は、貴兄の援
助もあって無事に職を全う

することが出来、感謝して
いる次第であります。

一方貴兄は稲門会の要職
にも関わらず、昭和四十年

に弁護士になられて以来、
参加された砂川基地拡張反
対闘争の弁護団を統けられ、
最後まで活躍され重鎮の一

人として全国に名を轟かさ
れたことは周知のことであ
ります。

その事例として沖縄の大
田知事の砂川闘争類似の訴
訟の弁護団の一員に要請さ
れるなど、社会派弁護士と

ますが、一方貴兄としても
心残りであったのではない
かと残念に思えてなりませ
ん。
社会派弁護士としてのイ
メージは、強面でしようが、
貴兄は真逆に温厚で、優し
く、人当たりも良い一方忍
耐強く、知人を紹介し相談
に乗って頂いた際にもその
人柄にさすがだなと感じた
こともあります。
我が稲門会で現職を退い
てもお人柄で何かと相談に
乗って頂けたのに、もうお
会いできないと悲しうと悲し
いと共に寂しく残念になり
ません。

お忙しい人生であられた
と思いますが、ここらで全
てを忘れ、どうか安らかに
お休みください。



編集後記

☆中村克久会長体制がスター

として初めての会報発行で
ある。広告掲載はやめよう、
ページ数も減らそう、同好
会記事はホームページにま
かせよう、という方針で進
めてきた。また、従来より、
少し大きな文字をめざして
何とか六ページに収まった。

☆世の中、携帯からスマ
ートフォンの時代になってき
た。尚且つ通信回線も高速
なものになってきている。

トフオノの時代になつてき
た。同好会等のイベントの状況、
結果、感想をその場で手軽
にすぐに投稿して公開する、
そういうサイトを構築して
いきたいと考えます。そし
て、誰かが別の視点からコ
メントを書くという盛り上
がりを期待したいのです。

また、投稿によって、エビ
ダンスが蓄積され、活動内
容がみえてきます。今年の
活動方針の一つ、「会員の
拡大」は同好会活動の活性
化によつても、もたらされ
るが、投稿サイトも微力な
がら活性化につなげられた
ら。

(岩瀬英治記)